

## 令和6年度 第3回学校運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和7年2月19日(水) 14:40~16:30
- 2 開催場所 岩手県立大東高等学校 会議室
- 3 参加者 校外委員7名、校内委員5名(総務主任1名、事務長1名オブザーバー参加)
- 4 次第 別紙資料表紙の通り
- 5 校長あいさつ
  - ・全職員で生徒の居場所づくりに取り組んでいる。
  - ・3年生は進学、就職と次のステップに向けて着実に結果を出している。
  - ・部活動は少人数でも合同チーム等で活躍している。(ソフトボール部は千厩高校と合同で全国選抜大会出場予定。男子バスケットボール部は新人戦県ベスト16。高文祭美術工芸展で絵画部門特賞)
  - ・水かけ祭りに今年は1,2年生全員でボランティアとして参加した。伝統の祭りを支えることで、地域から頼りにされていることを大いに実感している。
  - ・3月15日からJ Rのダイヤ改正がある。部活動等学校生活に影響が出ることが懸念される。
- 6 令和6年度活動報告 (資料のとおり)
- 7 学校評価アンケート結果について
  - ・1年生に「1」をつけている生徒が10人ほど居るのが気になる。(B委員)  
⇒「1」は「わからない」という回答。1年生にはコミュニケーションスキルの育っていない生徒が多く、支援を必要とする生徒も多い。
  - ・生徒の平均が全体的に令和5年度より低下している。(A委員)  
⇒「1 わからない」の解答がポイントを下げている。平均の出し方は今後検討が必要だ。
- 8 協議
  - (1) 大東高校の志願者確保に向けた取り組みについて
    - ・志願者数が発表になったが、情報ビジネス科の志願者数に驚きを隠せない。同規模の学校は定員を割っている中、倍率が高い高校もある。その高校の取り組みを調べてみる価値はある。少人数だからこそ良さ(きめ細かい指導等)や部活動の合同チームの良さ(交流ができる)を近隣の中学生やその保護者にアピールする場を検討すべき。数年前に情報ビジネス科の発表会を室蓬ホールで見たが素晴らしい発表だった。近隣中学生の1,2年生に見せてはどうか。摺沢振興会や大東支所と協力して地域と連携した活動をアピールできれば良い。(B委員)  
⇒生徒を巻き込んで地域のいろいろな活動に参加し、次年度の巻き返しを図りたい。
    - ・町外からの志願者が減少しているのではないか。近隣中学校の生徒数は今後も減少が予測される。高校生を中学校に派遣して、高校生の活動を中学生に見せてはどうか。同地区の別の高校は今年、東磐井全部の中学校で出前授業をした。生徒同士の訴えの方が生徒には響く。(C委員)
    - ・大東高校のホームページを中学生は見えないようだ。直に活動の様子を見ることができたので水かけ祭りでの活動は良かった。(C委員)
    - ・大東高校のイメージが昔とまるで違う。近隣の高校には宮城から野球部の生徒が継続して入学している。他にも県外生徒を当てにしてクラス増を図っている学校があるが、どの高校も地元生徒が少なく違和感がある。地元の生徒を大東高校に残したい。J Rは路線を減らす傾向にあるが、交通手段の確保は大切。(D委員)
    - ・大東地区全体としてのアピール力が低下している。J R摺沢駅が無人駅となったが、他地域で働き

かけをしたのではないか。摺沢駅の待合室には時刻表もない。高校とともに地域として J R に申し入れなければならないと考えている。(A 委員)

(2) 地域や関係機関との連携(「社会に披かれた教育課程」の実践)について

(3) 地域と連携した高校生の活動・取り組み「(仮)大東魅力発信部」について

- ・他地域と比べて大東の地域の力が弱まっている。西和賀・住田・花泉・大槌は地域ぐるみの動き・力が大きい。大東高校は学びの特色・中学生が魅力を感じる点が少ない。地域と一緒に作るサークル、好循環を作るエンジンとなる実態づくりを考えている。名称も(仮)としてあるが、名前も自分たち自身で決めることで達成感を持たせたい。(E 委員)

⇒地域との活動をしたいかというアンケートには 10 数名がぜひやりたいと答えている。

- ・振興会で高校生とともに活動をするための相談会をすると、自分たちでしっかり計画を立てて手伝ってもらおうという発想になる。高校生と一緒に企画をしたい。(A 委員)
- ・地域や学校みんなで近日中に調整して話し合いを持ちたい。(E 委員)

(4) 全体反省会議について

[情報ビジネス科]

- ・イベントの見直しが必要。
- ・(株)オヤマとの共同開発「とりもっちーバー」については終売の可能性もある。
- ・駅カフェについてはやりたい生徒もいる。
- ・情ビ魅力発信部として Instagram のアカウント開設も検討中。

(5) 本年度の取り組みについて

- ・学習環境の改善としてエアコンの設置は良かった。小規模ながら進路の実績も素晴らしい。情報ビジネス科の活動、野球部の活躍、四年制大学への進学は大東高校のアピールポイントだと思う。(B 委員)
- ・保健教育は大切。厚生課の講話の企画も大変良い。教育相談の充実は大事。中学生は将来のために資格が必要だと思っているが、工業系の資格しか知らない。高校生から直接、資格について話してもらえる機会があれば良い。情報ビジネス科の資格取得が就職につながっている。中学生へのアピールとしてそのこと「見える化」が必要。(C 委員)
- ・JR 大船渡線開業 100 周年企画として市民センターで映画鑑賞会を開催したところ大盛況だった。費用は市民センターで負担できるので、ぜひ高校でも利用してほしい。(A 委員)
- ・今年度の情報ビジネス科からの大学進学者は、はじめから目的があって情報ビジネス科へ進んだ生徒だ。情ビからも四年制大学へ進学できることもアピールポイントでは。(D 委員)

(6) その他

- ・ある教育系 YouTube の番組は丁寧でわかりやすい。お金がなくても、地方でも、つまずきがあっても大丈夫。ひとり一台端末の時代なのでこういうものを利用するはどうだろうか。(B 委員)

9 その他

令和 7 年度の委員について。ぜひ継続してご協力をいただきたい。4 月に改めて委嘱します。

10 所感

終始、和やかな雰囲気、活発に会議が進んだ。委員の皆様の大東高校への高い期待が様々な発言から感じる事ができた。少しでも多くの中学生に、大東高校の魅力を発信し、関心を持ってもらうために、学校運営協議会でも様々な取組を行っていききたい。